ENRICO LETTA

- **Prime Minister of Italy (2013-14)**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

Enrico Lettaは、2013 - 14年にイタリアの首相になり、中央左派の民主党、中央右派のPeople of the CentristのCivic Choiceからなる大連合を率いました。首相の地位への彼の急上昇は、彼自身の党首、マッテオ・レンツィによって促されたのと同じくらい予想外だった。

2013年、選挙後何週間もの選挙後の膠着状態の後、党首Pier Pier Luigi Bersaniが失敗した後、Napolitano大統領はLettaに政府の結成を要請した。首相官僚の任務を受け入れるために彼が自分自身のフィアット車で大統領宮殿に運転したという事実は、イタリアの政治家が知られるようになった広範な特権に対する声明として一部の人に見られました。

彼は議会制度を改革し、議員の数を減らし、政治をより安定させるためにイタリアの選挙法を変更することに熱心でした。 12月までに、民主党はMatteo Renziでカリスマ的な若い指導者を持っていました。新しいPDリーダーは翌月のSilvio Berlusconiに会って選挙改革の見通しについて話し合い、数週間以内にLettaがますます孤立した変化の遅いペースを批判的に批判しました。左翼のライバルであるMatteo Renziとの緊張に続いて Lettaは首相を辞任すると発表した。その後、彼はパリに移り、サイエンスポー大学でヨーロッパとポピュリズムを教えました。

彼のキャリアの初期に、レタはイタリアがユーロに加わる準備をしていた財政大臣で働いていました。そして、1998年に32歳でヨーロッパ問題の大臣に任命されました。センターは2001年に停電を去る前に彼は後で産業大臣そして貿易のための大臣を務めました。

1966年にピサで生まれたレッタは、1991年から95年にかけて、ヨーロッパの青少年の中枢派クリスチャン民主党を率いる前に、欧州共同体法の博士号を取得しました。 1994年にシルヴィオ・ベルルスコーニが政治に参入したとき、クリスチャン民主党は分裂し、レタはロマノ・プローディが率いる中央左派の新連立を支持した。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988